

自分や他者に想いを巡らすこと

新年明けましておめでとうございます。

今年は辰年ですね。辰(龍)は空想上の生き物ですが、「権力」や「隆盛」の象徴であるため、大きな力を得たり、成長したり、形が整っていく時期と言われています。皆さんはこの1年を、どのような年にしたいでしょうか？

このように「年」を12種類の動物で表現する仕方を十二支と言います。今回はそんな十二支にまつわる絵本を紹介したいと思います。

～十二支のはじまり～

神様は思いつきで、動物たちにこう言いました。

「1月1日に神様の家でごちそう大会を開催します。先着で12番までに辿り着いた動物にはご褒美があります」

動物たちは、1月1日をめがけて、神様の家に行くことになりました。

しかし、ネコは神様の家に行く日を忘れてしまいます。

そこで友だちのネズミに聞いてみると、ネズミはネコに負けたら悔しいので、ネコには「1月2日だ」と嘘の日にちを教えてしまいます。

そして神様との約束の日が迫ってきました。

それぞれの動物は神様の家に向かって、出発します。

いろいろな動物が続々と到着し、1番に到着したネズミから12番に到着したイノシシには神様からその年を表す十二支になれるご褒美を与えられました。

集まった動物たちがみんなでごちそうを食べながら盛り上がっていると、誰かがふと「ネコさんは来ていないね」と言いました。

ネズミはハッとになって、「嘘の日にちを教えたせいだ、ネコさんが来ればもっと楽しかったのに・・・」とひとりでひっそり思うのでした。

ネコは翌日、1月2日に神様の家に行くと、集まるのは前日であったことを神様から告げられました。

その後、ネコはどうして日にちを間違えたのだろうか、自分の聞き間違いか、ネズミの言い間違いかをネズミに確認しようと思って近づくのですが、ネズミはネコに怒られるのではないかと逃げてしまいます。

それが今でも猫が鼠を追いかけることにつながっているということだそうなの・・・

絵本のネズミやネコと同じように、人間関係でもトラブルはつきものです。ちょっとした言動・行動で相手を傷つけてしまうかもしれません。また逆に、相手に傷つけられたと腹を立てるかもしれません。そうなってしまうと、あっという間に敵対関係です。

しかしこの絵本の面白いところは、ネズミが自分を振り返り後悔してみたり、ネコが自分やネズミの立場になってどうしてこんな間違いが起こったのかとあれこれ考えるところ

です。
このことを参考にすると、敵対関係も違う展開がみえてくるかもしれません。

絵本の中でネズミの嘘はよろしくありませんが、人間関係のトラブルは一方が悪いばかりではなく、考え方のすれ違いやコミュニケーション不足によって起こることが少なくありません。ネコのように相手の立場になって考えてみることですれ違いやコミュニケーション不足が解消されることもあります。また絵本のネズミはネコに怒られるのではないかと避けてしまいましたが、自分の行いを反省して謝ったり、これからの行いについて気を付けたりすることで、関係の改善も可能かもしれません。

今年1年、みなさんの充実したキャンパスライフを総合相談室は応援しております。何かお困りごとがありましたら、総合相談室までご連絡ください。

専任カウンセラー
後藤 龍太



令和6年1月1日発行